

JVCケンウッド

https://www.jvc.com/jp/pro/healthcare_sys/

スマートで快適な画像診断環境に向けて

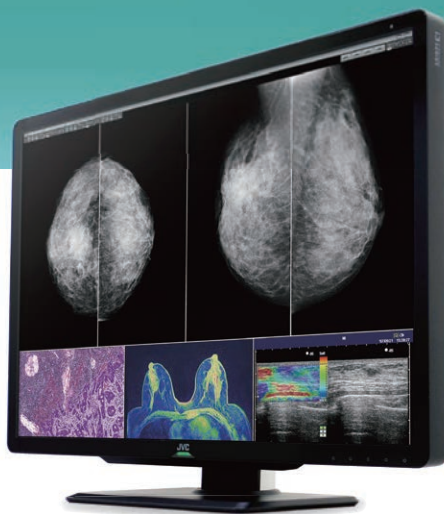
【主な紹介製品】

【新製品】

- Type-C対応21.3型300万画素カラー液晶モニター
「CL-S301」
- 統合ユーティリティソフトウェア
「Medivisor Utility」
- 【ワイドモニター】
- 1200万画素30.9型カラー液晶モニター
「CL-S1200」
- 800万画素32型カラー液晶モニター
「CL-R813」
- 600万画素30型カラー液晶モニター
「CL-S600」
- 【遠隔画像診断向けソリューション】
- モニターネットワーク品質管理
クラウドサービス
「PM Medivisor Cloud」



新型モデル「CL-S301」



ワイドモニター「CL-S1200」

USB Type-C対応、遠隔・在宅での画像診断のニーズに応える新型モデル
「CL-S301」 (新製品)

新製品の300万画素21.3型カラー液晶モニター「CL-S301」は、USB Type-Cケーブル1本で、映像伝送とノートPC給電の両方が可能。また、KVMスイッチ搭載・2系統入力対応により、1台のキーボードとマウスで2つのPC端末の入力切り替えができる。スマートな接続とスッキリとした配線により、遠隔・在宅でも簡単に快適な画像診断環境を構築することができ、

加えて設備費用の削減にも貢献する。大規模な病院はもちろんクリニックなど、業務効率化や働き方改革をサポートする新型モデルとして提案する。

AI画像診断結果の同時表示にも最適なワイドモニター
「CL-S1200」

業界最高水準*の高解像度1200万画素と30.9型のワイド大画面を実現した同機は、マンモグラフィ画像の2画面表示はもちろん、CT・MRI・超音波・病理など、1画面にビューワ・レポート・AI判定結果などのさまざまなア

プリケーションウィンドウの複数同時表示も可能。視線移動の負荷軽減、省スペース、作業効率改善が期待できる。また、AIの学習のために大量の教師データの作成が必要な医用画像AIソフトウェアの開発においても、大画面・高画質表示により、長時間かつ集中力を要する医師の作業をサポートする。

画像診断ワークフローを大幅に改善する
「Medivisor Utility」 (新ソフトウェア)

同ソフトウェアは、マウス（またはキーボード）のみでモニターのあらゆる操作を可能にした統合ユーティリティソフトウェアである。操作にかかる手間を大幅に削減したことで、モニターに搭載されている便利な画像診断サポート機能の利用や各種設定がよりスムーズにできるようになった。AI画像診断ビューワーとの連携などで複雑化するモニター操作も、スピーディーな操作とスムーズなワークフローを実現することで、作業効率化と医師の疲労軽減をサポートする。